

たま川兄弟 減右衛門と量右衛門のこれやってる？
 <有害ごみの缶の出し方を覚えよう！の巻>

減右衛門

量右衛門

カセットコンロ用のガスボンベはいつ捨てるの？



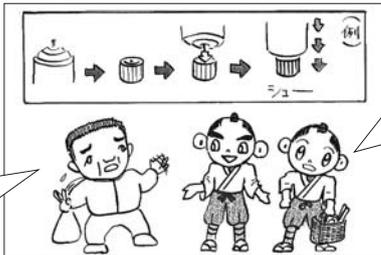
寒い日はやっぱり鍋だね！

中身が残っているけど使えないものはどうするの？



有害ごみの日だよ。透明または半透明の袋で出すか、資源容器で出してね。

そういうキャップはついてないよなんだ。



中身を出せるキャップはついてないの？

わかった。聞いて良かった！



それなら、収集の人にわかるように貼り紙をすれば大丈夫だよ。

各部屋にごみ箱3つ！



雑紙・容器包装プラスチックを
 しっかり分別！

井上千恵子
 酒主カツ子
 宮原澄人
 新井洋子
 加藤隆子
 大友宏子

濱田サエ工
 鈴木美恵子
 岡野百合子
 小林英子
 雨倉功明
 富中順子

今村洋子
 伊藤美智江
 中里ふさ子
 川島恵梨子
 (敬称略)

一斉改選に伴い、11月30日(土)をもって次の方が退任しました。長い間、ありがとうございました。

民生・児童委員は次のような活動をしています

- 地域の相談役
- 生活上の困りごとの相談に応じます。
- 市民と行政のつなぎ役
- 援助が必要な方には、福祉サービスや行政機関などについて情報提供するなどの支援を行います。





シリーズ 地球温暖化対策
いま、行動しよう！

第6回

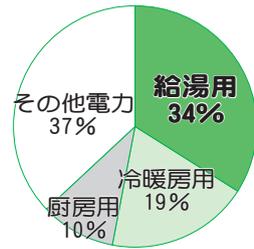
冬の家庭の省エネ対策

問合せ 環境保全課環境保全係 226

エコ これからますます寒くなってくるから、部屋を暖かくしたり、お湯を使ったりする機会が多くなりますね。冬だからこそ意識して取り組める省エネ対策もありそうですね。

クール先生 家庭のエネルギー消費量は、実は夏季より冬季の方が高い傾向にあるんだよ。家庭の省エネ対策で特に意識して取り組んでほしいのが、「給湯」なんだ。家庭でお湯をつくるために消費しているエネルギーは、家庭の年間エネルギー消費量の約3割以上を占めていて、冷暖房よりも多くのエネルギーを消費しているんだ。

家庭のエネルギー消費量内訳



出典：「もう一度見直していきましょう 電気とガスの使い方」(クール・ネット東京)



▲クール先生

エネルギー消費を抑える方法として：

給湯で省エネ

- 水から沸かすより給湯式でお湯張りをする
- お風呂は間隔をあけずに続けて入る
- お風呂のふたを閉める
- 高断熱浴槽や高効率な湯沸かし器に取り替える
- 浴室のシャワーヘッドを節水型に取り替える
- 太陽熱利用システムでお湯を沸かす
- 太陽熱給湯器に取り替える

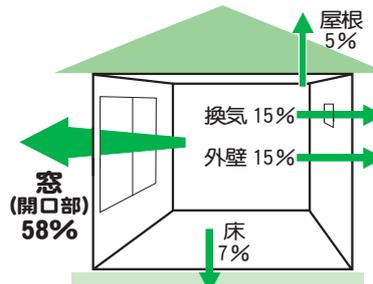
エコ 太陽熱を使うことで、燃料代がかからないから、経済的にもエコですね！

クール先生 給湯

のほかに、断熱することでも省エネになるんだ！

部屋の熱は、半分以上が窓から逃げていつてしまうから、窓の断熱性能の向上も大切なんだよ。

暖めた空気が逃げる割合



出典：「もう一度見直していきましょう 電気とガスの使い方」(クール・ネット東京)

窓で省エネ

- 「内窓」を設置する
- 窓ガラスに断熱フィルムをつける
- 窓ガラス・サッシ・ドアを、断熱性・気密性の高いものに取り替える
- 床まで届く長めで厚手のカーテンを使用する(ガラスの種類により熱割れする場合があります)

エコ 窓の省エネに加えて、部屋の空気を循環させると、暖房効率もさらに向上するんですよ！

クール先生

冷蔵庫の庫内温度設定を「弱」にしたり、テレビを省エネモードにしたりすることも、一回の設定で長い省エネ効果があるんだ！



▲エコちゃん

水道水の放射能測定結果

▼羽村市水道水の放射性物質測定結果

採水日時	検査項目 (単位：ベクレル/kg)	
	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137
11月18日(月) 午前9時	不検出 検出限界値 (0.6)	不検出 検出限界値 (0.9)
目標値(※1)	10	

※1…国が定めた目標値(放射性セシウム134と放射性セシウム137の合計値)
 ※不検出とは、()内の検出限界値以下であることを表します。
 ※検出限界値は、検査機関の周辺環境や測定器の性能、検査物質によって異なります。
 ※測定方法など詳しくは、問い合わせてください。

問合せ 水道事務所 ☎ 554-2269

放射線量の測定結果

▼定点(富士見公園)の放射線量測定結果

単位：μsv/h (マイクロシーベルト/時間)

測定日 (各日午前9時)	天候	測定高さ		
		5 cm	50 cm	1 m
12月4日(水)	晴れ	0.066	0.069	0.071
11月27日(水)	曇り	0.069	0.070	0.068
11月20日(水)	晴れ	0.063	0.067	0.068
11月13日(水)	晴れ	0.065	0.067	0.064

国際放射線防護委員会の2007年勧告によると、一般の人(子ども含む)が1年間に浴びる放射線量の限度は、1,000マイクロシーベルトとされています。時間あたりに換算すると0.23マイクロシーベルト/時間となり、それ以下であれば、健康に影響を及ぼすレベルではないと言われています。
 ※測定方法など詳しくは、問い合わせてください。

問合せ 環境保全課環境保全係 226